

安曇野市男女共同参画推進審議会 会議概要

1	会議名	第2回 安曇野市男女共同参画推進審議会 (第6期)
2	日時	平成30年10月17日(月) 午後1時30分～午後3時30分
3	会場	安曇野市役所 3階 会議室307
4	出席者	田中委員、猿田委員、安田委員、高井委員、三溝委員、鈴木委員、二木(正)委員、三好委員、山崎委員、小島委員、尾碁委員、等々力委員、秋山委員、久保田委員、田村委員、橋住委員(欠席委員)、二木(一)委員、佐々木委員
5	担当課出席者	堀内部長、高山課長、小笠原課長補佐、塩原主査 商工労政課熊井係長、村上主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成30年10月26日
協 議 事 項 等		
<p>【協議事項】 安曇野市役所 3階 307 会議室</p> <p>1 開 会 2 あいさつ 3 協議事項</p> <p>(1) 第3次安曇野市男女共同参画計画の各課の取り組みについて ア 第3次安曇野市男女共同参画計画 (基本方針1)・・・資料1 イ 第3次安曇野市男女共同参画計画 (基本方針2) ウ 第3次安曇野市男女共同参画計画 (基本方針3)</p> <p>(2) その他</p> <p>4 その他 5 閉 会</p> <p>【会議概要】 3 協議事項</p> <p>(1) 第3次安曇野市男女共同参画計画の各課の取り組みについて</p> <p>【要旨・主な意見】 ア 第3次安曇野市男女共同参画計画 (基本方針1)・・・資料1 会 長：各課の取り組みについて審議していきたい。 事務局：説明 委 員：スクールカウンセラーとして日々思うことだが、子どもたちの中で人間関係や友達とのトラブルは、学年が上がると増えている。小学校は、人としての基礎をつくるころ、その点について学校は力を入れている。 委 員：学校教育について、近年、長野県においては、商業・工業・農業の専門の高校が統廃合の対象になり懸念している。県立高校で、専門分野のある学校は、モデル事業に参加することや、学びの支援の充実を図る等、資格取得やキャリア形成において魅力に思う特色づくりが必要。県の動きと逆行してしまうが、専門分野のある学校は、地域を背負う</p>		

子どもたちにとって大切である。

会 長：「一人ひとりが輝く」という視点では、教育はとても大切。基本方針1 男女共同参画の意識づくりについて、他に意見はあるか

委 員：資料一覧(3) 人権教育の述べ参加人数について質問したい。各公民館の人権学習が、主たる事業ということか。

事務局：公民館主催の事業や、社会教育担当主催に事業(2分の1成人式や、講座)も人数に含まれていると、原課から聞いている。

委 員：83区の事業「人権学習」についてはどうか。

事務局：原課では、公民館・生涯学習課が実施した「人権」に関わるものを総和している。計画一覧の数字は原課で修正したため数値目標が変更されている。

委 員：JA女性部に、今年は南農高校から「牧大根」の調理の指導依頼があった。教えていただいたお礼に、顕微鏡で野菜を見る実演の実施を考えている。高校生がフォーラムの発表で、地域貢献していきたい意欲に感動した。子どもたちが疎かにされてしまうことに憂えている。市の中で連携を取って、教育現場を大切にしたい。

イ 第3次安曇野市男女共同参画計画(基本方針2)

会 長：女性が活躍できる環境づくりの施策について、事務局から説明を願いたい。

事務局：説明・商工労政課説明(女性に対する就労支援に関して)

委 員：この数字を見ると「ハローワーク」の問題や、「職場いきいきアドバンスカンパニー」、「在宅ワーク」の支援等は、数字が少なく、控えめな印象。もっと多くの方を対象としていただきたい。

委 員：社協でファミリーサポートセンター、児童館を受けている。少子化であっても児童館の利用人数は増えている。それだけ、働く女性が増えることはいいこと。しかし、企業も協力的な姿勢でないと、女性にしわ寄せがくる。児童クラブの人数の増加はよいが、先に勤務先の環境を充実させていくことが重要。制度の充実等は、ニーズがあるのに無いでは、遅れているように思う。

会 長：今、社会全体は人手不足の問題がある。企業は女性に限らず男性も働きやすい環境をつくるのが人材確保の手段になっている。市内に「職場いきいきアドバンスカンパニー」に認定されている事業所もある。行政は企業の状況把握や指導の必要も出てくると思うが、どのように関わっているかわからない。商工労政課にお伺いたい。

商工労政課：働く環境や条件については、労働基準監督署から指導・助言を行うことはできる。

市としては専門的な支援が出来るよう、産業支援コーディネーターという、庶務と、技術それぞれ1人ずつのコーディネーターを課内に配置し、定期的に市内の事業所を訪問している。事業所によって違うが、訪問した時に業績や業界の相談を受け、アドバイスを等市と企業をつなぐ大切な役割を担っている。企業が窓口に来れば、随時対応もしている。

委 員：小さい会社は女性が働きにくいと思われがちだが、私の事業所では、子育てしている人は休みを取ることもある。有休もほぼ消化している。家族の都合にも併せるように制度を整備している。むしろ、男性の方が働きにくい。仕事を回していくためには、ある程度出勤率を確保する必要があり、男性がそういう役回りになってしまうのではな

いか。女性が働きにくいと言われているが、具体的にどんな分野なのかを知りたい。

委員：私は、職場いきいきアドバンスカンパニーに認定されている所で働いている。介護事業所であり、職員の人手不足が課題。働きやすい体制を経営者が考えており、従業員の要望に合わせ、保育園のお迎えの時間に合わせた勤務も可。かつ、正社員・準社員と分け、準社員は、給与が8割。でも時間の融通が利く。未満児まで、無料で職場併設の保育所に預けられるようになっている事などがある。

委員：女性の働きやすい職場は、定着率でわかる。業種・時期によって変わるし、本人の資質で責任を与えることが力になる人もいれば、重荷になる人もいる。働きやすい企業を、採用率だけで定義づけることは難しい。定着率という指標も、採用率と同様に注視していく必要がある。定着率が高い企業は、働きやすいと言えるのではないか。

会長：家庭生活と両立できる環境づくりに理解を示す企業の具体例について教えていただいた。また、経営者としての意見で、女性に有給休暇を取りやすいように配慮し、今でも十分働きやすいという意見も出された。

商工労政課：追加説明。

女性の就職率で、ハローワークの求人票を見て、本人の希望がある分野の会社を紹介している。就労の時間の制約があるかを、相談者に確認して決めていくが、その過程で、企業と本人の希望が合わないため、就職率が上がらないことが課題。ハローワークの改善策として、個人の相談時間を延長し、より希望を聞けるようにする工夫もしている。

ウ 第3次安曇野市男女共同参画計画（基本方針3）

事務局：説明

委員：持参資料配布説明、

多文化共生事業についてと安曇野国際化ネットワーク活動について

日本人の輪に入れず、隔たりを感じている人もいる。日本語教室では、日本語を勉強したいが、機会がとれないことが多く、どのように支援していけばよいか模索している。

会長：多文化共生について、一番は言葉の問題。日本語教室等の支援に協力できる人が増えることが大事。仕事は、言葉ができることで広がる、地域への定着にもつながる。今後は、外国人の人手も大切。多文化共生は、重要性を増している。

委員：乳幼児健診は100%が当たり前だが、98%で残り2%は受けていないという解釈になる。みんなが受けることが前提だが、おかしくないか。

事務局：受診が出来る健康状態でない方もあり、100%にならないと聞いている。

委員：親のネグレクト問題で、健診に出てこない可能性もあり心配。市として注視して欲しい。

委員：本日の話は、「なるほどな」と思った。

「男女共同参画」について、新座市から区長会視察があり出席した。市長、議長、区長会長の30名。議長は女性、区長会長のトップの方も女性、各区長も4名は女性。女性が1割を占めていた。女性の進出が進んでいると感じた。

最近、市の職員の中で女性管理職も出てきているが、それは良いことではある。一方で、男性の役目を果たそうとすると、できない部分もある。国の指針によらず、市民にとって何が一番いいかと突き詰めることが大切なのではないか。

委員：小中学校は、人権の学習の入り口にある子ども達を預かっている。「多様性」について

も、色んな子ども達がいる、様々な背景のある子を、他の子ども達にどう伝えていくか、課題と考えている。学校運営の上でも考えていかなければと思う。

委員：先ほど、従業員の休暇の関係で、女性が休むと男性にしわ寄せがいくという話を聞いて、気になる部分がある。女性の社会進出はよい事だが、女性の意識も改革する必要がある。私は定年まで働くことができた。家庭が大変だった時に、かなり支えられた。その時に先輩方に「今は、あなたは甘えていいのよ。あなたができるようになったら、恩返しをしてね。」と言われた。やはり女性自身も意識を変えていかなければと思う。

委員：家族経営の妻は、自分たちで仕事を切り盛りしている。夫婦相互が協力しあって仕事をしながら家庭も回すが、仕事と家庭が近く、負担になる事もある。勤めている人は週休2日等だが、家族経営はそれがないこともあり、時間を確保するのが大変。しかし、家族経営にも良さがあると思う。

会長：5年間、計画を進めていきますが、皆さんご了承いただいたということでよろしいか。

委員：了承

(2) その他 — 特になし —

4 その他

事務局：次回開催は3月を予定

一同：了承